



社会福祉

法人

豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2001年(平成13年)3月31日

第33号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒561-0881 豊中市中桜塚 2-28-7 TEL (6848) 1000

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

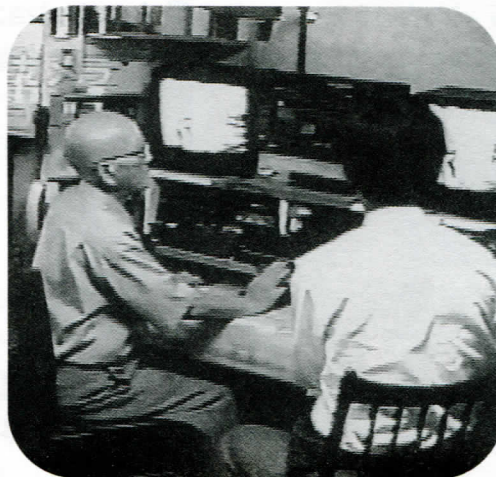
私達のグループ「ズームイン」は、ビデオ映像を通じて多くの人にボランティア活動の内容や実態を知ってもらおうと、「ボランティア活動ビデオ」の製作を目的として結成されたグループです。

結成当初から、各ボランティアグループの活動取材し、実際の活動内容を紹介するビデオを製作してきました。最近是小・中学校のボランティア体験学習や校区のボランティアの模様を取材・記録しています。

昨年は、福祉の輪を広げる事業実行委員会のビデオ製作にも参加させて頂きました。また、ボランティアフェスティバルの「ブリクラコーナー」もグループの活動の一つです。

グループで製作したビデオを見て頂くことで、すこしでもボランティア活動の輪が広がる事があれば、うれしい事と思っています。

皆さんの活動風景を取材に行くことがあるかも知れません。その時はご協力よろしくお願いします。(ズームイン T.K)



ボランティア活動
ズームイン

これまでの活動が評価され、平成12年には「大阪府社会福祉ボランティア知事表彰」を受けられました。現在のメンバーは5名。ビデオ撮影に興味のある方は一緒に活動してみませんか？

編集された作品は、イベントやボランティアスクール、また福祉関係者の会合などで幅広く活用され、今までなかなか知られなかった福祉活動を広げていく大切な活動となっています。

定例会は毎月第3金曜日、ボランティアセンターにて10:00から行います。ぜひお越しください。

2001年はボランティア国際年

1997年11月20日、第52回国際連合総会において、日本の提案に基づき、123カ国の賛同を得て、2001年を「ボランティア国際年」とすることが採択されました。

「ボランティア国際年」の目的は次の4つです。

1. ボランティアに対する理解を深める
2. ボランティアへの参加が促進される環境を整備する
3. ボランティアのネットワークを広げる
4. ボランティア活動を推進する

ボランティア国際年を契機にボランティアの輪が広がっていくようボランティアセンターもさまざまな企画をしています。



2001
ボランティア国際年

第8回豊中ボランティア

今年のボランティアフェスティバルはボランティア国際年にちなんでにぎやかに開催されま
パネルディスカッションなどさまざまな企画が用意され、たくさんの市民の皆さんが来場しました。

熱心なパネルディスカッション

ボランティアフェスティバルのハイライトのひとつは、パネルディスカッションでした。「みんなで語ろう!! 21世紀のボランティア」というテーマで熱心にディスカッションが行なわれました。



パネラー左から

龍谷大学助教授	筒井 のり子氏
「アクセス」	山口 宗之氏
「まどか」	賀元 澄子 氏
Vネットとよなか	松井 淳太郎 氏
野畑校区福祉委員会	石津 敏雄 氏
NALC豊中・池田・箕面	堀端 治夫 氏

筒井先生から、21世紀、ボランティアに期待される行動と背景についてお話があった後、各パネラーによりボランティアの現状と問題点の提起がなされました。

さらに、21世紀にはボランティアは情報をさらに的確に把握し、ボランティア同士の新しいネットワークを形成していく必要があることなど、有益なディスカッションが行われ、多くの聴衆が聞き入っていました。

(アクセス M.Y)

福祉体験作文

市内では33校がボランティア協力校の指定を受け、さまざまなボランティア体験学習が行われています。
豊中市立第二中学校では市社協登録ボランティアグループ「みちしるべ」の皆さんを講師に迎え、車椅子・アイマスク体験を行いました。

「不便だけど不幸ではない…」
豊中市立第二中学校一年 福本 可奈

私は車いす体験をしました。車の基本操作や、足の不自由な人への手助けなど、くわしく教えて下さり、その後、実際に体験しました。すると、なだらかな下り坂でも、後ろ向かないとこわかったし、少しかたむいているだけでもたおれそうでした。乗っていると楽しいだろうなと思っていたのは大まちがいでした。

介助の体験では、足の不自由な人を車いすに乗せてあげる時、ブレーキをかけるのを忘れてフットレストに足を乗せてあげずに、乗っている人が自分で乗せたりしました。それに、道路がかたむいていいるのがわからないくらいでも、低い方へと車いすが進んでいってしまいました。車いすをおすのは、とても難しいことだと思いました。その他、体験をしてみないとわからないこともたくさんありました。

例えば、車が通る時です。自分

では、危なくないと思うくらい車いすを寄せてもギリギリでした。私が乗っている時は、車のサイドミラーがちょうど顔の高さのところを通り、今までは気付かなかったこわさを知りました。

車いす体験のビデオを見ました。スーパード買物をする時や公園に入るだけでも大変だということがわかりました。私が一番責任を感じたのは、歩道を邪魔する車や自転車です。車いすの人が仕方なく車道に出て事故にあってしまうというのは、私たちの責任でもあると思います。これからはそのことを考えようと思いました。

私が一番心に残った言葉は、「不便だけど不幸ではない…」です。



フェスティバル

した。ボランティア川柳の投票、ボランちゃんグッズの販売、ボランティア体験スタンプラリー

(今回、日本マクドナルド株式会社より景品をご寄付いただきました。ありがとうございました。)

大人気「ボランちゃん」グッズ！

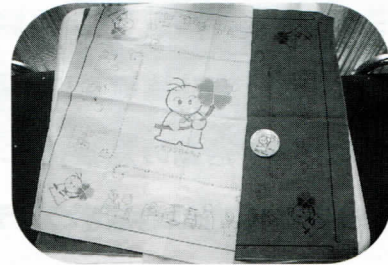
ボランティアフェスティバルに向けて、マスコットのボランちゃんグッズを作ることになりました。作るグッズは、バンダナと缶バッジと決まり、バンダナの縫製をお手伝いすることになりました。

布地探し、裁断、縁の三巻縫いと、その中でも三巻縫いをするのに、アイテムをミシン屋さんに相談すると、快くボランティアのお手伝いをしようと巻ロック専用ミシンを貸して下さいました。

1週間程通って300枚を縫い上げ、はし糸の始末を「小さな手」の皆で、頑張りました。

ボランティアフェスティバルの当日、グッズの販売の人気度を見ていたら、苦勞をしてグッズを作ったかいがあったと思いました。(小さな手 M. Y)

バンダナ&缶バッジ



ボランティア体験コーナー

スタンプラリーの景品、キティーちゃん人形のせいか、ボランティア体験コーナーは子どもから大人まで大人気。今年は地下にも会場を設けたので、車椅子の行動が限られたり、狭い階段付近ではアイマスク体験の人とシニア体験の人がぶつかりそうになる場面があったりした。対面朗読、手話、点字体験では順番待ちの行列も。チャッカリ組もあった。が、まずは触れてみよう、試してみようという目的は充分に達せられた。

(ステッキ K. S)



ボランティア川柳

市社協ではボランティア国際年を記念してボランティア川柳を募集しました。応募総数はなんと二八八句。その中から十四作品をボランティアフェスティバル実行委員会でご選考させていただきました。皆さんのお気に入りの川柳はどれですか？

ボランティア

すすめた私が

世話になり

楽しみは

手話で広がる

バリアフリー

返された

笑顔に明日も

ボランティア

主婦の留守

いつか公認

ボランティア

卒寿すぎ

できるやないか

ボランティア

喜ばれ

趣味がいつしか

ボランティア

車椅子

押して知りたる

その段差

「ありがとう」

うれしい一言

ボランティア

ぼくできる

ばあちゃんつないで

道案内

相互扶助

身体で知った

ボランティア

長生きの

お礼にかえす

ボランティア

ボランティア

「一人のため」が

世を育て

すきやねん

今日もみんなと

ボランティア

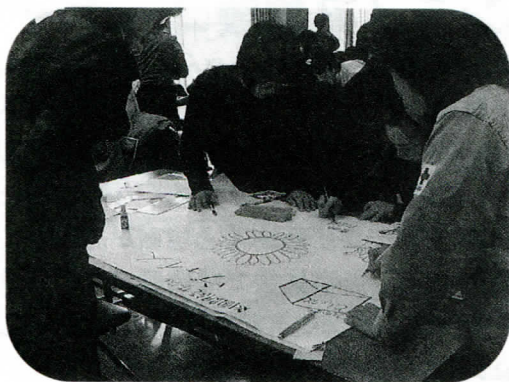
七十五

定年気にせず

ボランティア

～市職員もボランティア体験～

行政と市民のパートナーシップが叫ばれる中、市の職員研修所にボランティアセンターが協力し、4年目の職員の研修にボランティア体験が導入されました。一日目には市社協職員による「公務員にとってのボランティア活動の意義」についての講演と演習、二日目は市内の地域ボランティア活動を選択性により体験学習、三日目はグループ発表などを行いました。



体験報告会の様子

～受け入れ先の感想～

給食活動に豊中市職員の研修生を迎えて

11月24日、東丘校区のひとり暮らし老人への給食活動に豊中市の若い職員5人を研修生として迎えた。この日は「手作り」給食の日にあたり、60人分の昼食を作るために、前日から用意された食材、メニューの打ち合わせ、調理、盛り付けと大忙しであった。朝9時から水道局から派遣された男性などが白いエプロン、帽子をつけて、なれない手つきで包丁を握る様子は微笑ましく、給食ボランティアの人たちの気持ちを和ませてくれた。

出来上がった昼食は、それぞれ民生委員の人と一緒に配って頂いたが、これが研修生たちに最も感銘を与えたようであった。彼らの手をとって喜びと感謝の気持ちを示すお年寄りの姿を見て、ボランティアの意義を理解し、市民と触れるよろこびを実感できたと、後で頂いた感想文に記してあった。

(東丘校区 M.T)

～参加された職員さんの感想～

これまで、自分のイメージの中でボランティア＝偽善的という思いが強くありました。どこかで立場が優位に立っているように思えたからです。今回、ボランティア研修ということで、実際、戸惑いの気持ちもありました。私が参加させて頂いたのは、

“配食活動”ということで新千里東町へ行きました。団地の多いこの地区、ひとり暮らしのお年寄りへ配食活動を行っているのです。朝の打合わせから、季節に応じた食材、メニューの作成、お弁当という一つの器の中に何十人ものボランティアの方々の思いが込められていることを間近に感じられることができました。一つ一つが手作業で60個以上のお弁当作りというのは正直大変な作業です。なぜ、ここまで出来るのか…、それは一緒に配りに行ってわかりました。待っておられる姿、“ありがとう”という言葉…。たったそれだけの事だけど、それは何よりも励みになるのだという事を感じました。

ボランティアとは見返りではないということ、表情、言葉…etcが次への活力につながるという事を知りました。そうした中で、まだまだ行政との溝は埋まっていないことを改めて感じたし、どうしたいのか、何を求めているのかetcももっとも耳を傾けていくことが大事だと思います。行政のひとりよがりの考えだけではなく、いろんな意見を取り入れながら、市民、ボランティア、行政がそれぞれの架け橋につなげていけるようにしていけたらと思います。

(早川 ひとみ)



「つぼみ」オープンセミナー満開！！

3月10日(土)13:30~15:30福祉会館第1会議室にて「つぼみ」オープンセミナーが行われました。今回のセミナーには高校生・大学生を中心に12名の参加がありました。内容はまず、「つぼみ」の活動紹介、ボランティア活動についての説明があり、その後3グループに分かれ、「つぼみ」のメンバーと参加者で具体的な体験談やボランティアの意義、参加者のボランティア観ややってみたいボランティア等について、質疑応答を交えながら話し合いました。



私達は「つぼみ」の活動を通して、様々なボランティアを行ってきた中で、人とのふれ合いや仲間との交流を深める事ができました。これを機に是非ボランティアに携わってもらえればと思います。

(つぼみ K.T, K.T)

* 市社協では昨年より春休みに学生の方にボランティアを体験していただく機会を提供しています。



ボランティアレポーター訪問記〈豊中アッシー編〉

高槻市社協〈運転ボランティア〉と交流会を開催

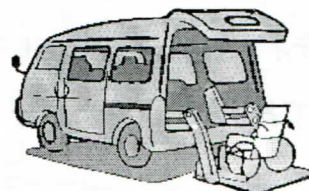
3月15日午後、高槻市総合センターを訪れました。高槻10名、豊中アッシー6名。高槻市社協会長様の挨拶の後、両社協ボランティアコーディネーターからそれぞれのシステムと現況が報告される。平成10年4月、軽自動車2台で始められ、現在は普通自動車2台を加え計4台、愛称「そよかぜ1, 2, 3号、夢号」、登録ボランティアは30名である。事前登録料・料金制度に少しの違いはあるがシステムがよく似ている。八尾市や豊中市を参考にしたと言われた。

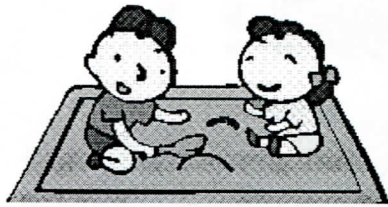
依頼の中心は通院が主であるということは共通するが、施設利用・社会参加、行楽等が20%を占める。自宅→病院／待ち→自宅の密着送迎

型の豊中に比べて、高槻は往路・復路と分けて数回もの活動で倍近い件数を対応している。「高槻は1人で活動しますが、豊中さんはなぜ2人？」と質問された。安全面での配慮からと答えたが理解されただろうか。

我々ボランティアだからこそこまで出来る、安心を最優先に利用者の「ありがとう、おおきに」を何にも代え難い励みに活躍することを誓い合い、高槻を後にしました。

(豊中アッシー T.I)





地域で広がる

少子高齢時代と言われる今日この頃。近隣付き合いが少なくなり、叫ばれる中、ここ豊中でもさまざまな地域で子育て支援活動の輪が

地域で子育て！

子育てサロン

市社協では、概ね小学校区毎に校区福祉委員会を組織し小地域福祉ネットワーク活動を展開しています。「子育てサロン」もその一つ。校区福祉委員会の呼びかけで月1回程度地域の親子が集まり、紙芝居をしたり、読み聞かせをしたり、時には専門家に来ていただいて勉強したり…と楽しく時間を過ごしています。

子どもが楽しく遊べる場、お母さんたちの交流の場として市社協では今後も子育てサロンの輪を広げていきます。



北条校区での子育てサロン

～現在の実施校区～
上野、少路・北緑丘、
中豊島、北条

困ったときには..

子育てサロン・子育て支援ボランティア・わいわい子育てミーティングに関するお問い合わせは 市社協ボランティアセンター 06-6848-1000

子育て支援ボランティアグループ「そよかぜ」

市社協ボランティアセンターでは子育て支援のボランティアの派遣を行っています。

産前・産後の一時的な家事援助や子育て支援を必要とする世帯を市社協登録ボランティアグループ「そよかぜ」の皆さんがお手伝いしています。

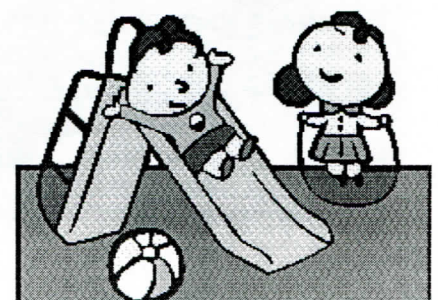
世間では子育て情報が多く出回っていても核家族で1人悩んでいるお母さんもいらっしゃいます。

ちょっと手を差し伸べると少しずつ元気になってくるお母さんを見て、「ガンバッテ」と心の中で応援しています。

ボランティアを通して少しでも子育て支援にお役に立てればと願っております。(そよかぜ A.K)



1歳半検診にも協力しています！



子育て支援

誰にも相談できず育児不安になるお母さんが増えています。「子育て支援」の必要性が広がっています。

子育てサークルを支援

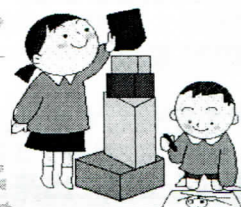
わいわい子育てミーティング

市社協では市内にある子育てサークルに年に1, 2回集まっていただき、子育てに関する講座や交流を行っています。またこの会から市内で活動する子育てサークルマップを作成し、子育て支援として大好評です。



3月8日、まだまだ外は寒いというのに集会室の中は多くの若いお母さんと小さな子どもたちの熱気で満ちていました。絵本の読み聞かせを熱心に見入る子、後ろに用意されたおもちゃで遊ぶ子、泣く子、眠る子、動き回る子そして子どもを気にしながら役立ちそうな事をメモするお母さん方、午前中の2時間はアツという間に過ぎてしまいました。

ともすれば、孤独に陥りがちな子育ての中、それぞれがより良好な親子関係を築くことができるように地域でのきめ細かな支援・見守りの必要性を感じました。(T. D)



～子育て支援窓口ご紹介～

★地域子育て支援センター

親子の遊びの広場や自主サークル、育児相談など地域の子育て、子育てを応援します。

・西丘地域子育て支援センター

TEL 6871-0180

・島田地域子育て支援センター

TEL 6331-6767

・蛸池地域子育て支援センター

TEL 6843-6031

・豊中市立子育て支援センター

TEL 6852-5526 FAX 6852-5422

★保健婦による育児相談(午前中)

保健婦、栄養士、歯科衛生士が臨時相談に応じています。

TEL 6858-2293(2800)

【保健センター分室】

★乳幼児発達相談

保育士が電話で随時相談に応じています。

TEL 6866-1011

【障害福祉センターひまわり】

★子育て電話相談室

保育士や栄養士などが月～金の10時～16時電話で育児や離乳食などの食事について相談に応じています。

TEL 6850-0636 【子育て支援課】

★ふれあい子育て相談

お近くの市立保育所を訪ねてみてください。保育士が子育てについて相談に応じてくれます。

TEL 6858-2258 【子育て支援課】

★子どもの虐待ホットライン

月～金曜日までの11:00～17:00(祝日休み)

TEL 6762-0088

地域で学ぶマップづくりと小地域ネットワーク

原田校区のふれあいマップが去る3月3日(土)A4版16頁の冊子で発行することができました。

昨年7月、校区福祉委員会の会合ですべての立場の人が交流を深めながら相互扶助と活性化を計る事業として、マップづくりが決定されました。

その実行会議の主なメンバーは小地域ネットワークの各種団体の代表者であったため、即意見がまとまり児童も加わる事になり、各団体メンバーと児童80名が加わり11月18日(土)に実施することになりました。

当日、児童はボランティア体験学習として大人を含む140名の皆さんと一緒に防災、通学路、公的施設、お医者さんの4組が5班毎に分かれ、校区内で共同利用できる共有物の所在を知り、又その情報を収集しそれぞれの安全性を検証しました。

検証した4組の結果は各教室での先生のご指導で各児童のコメントを記録して頂き、その結果をマップ製作の原稿とし、重なる会議で出来上がったマップです。

(原田校区 A.T)



編集後記

介護保険が実施されてはや1年がたちました。

利用者、事業者共に手さぐりの状態で始められましたが、まだまだ利用者にとって満足できるものではないようですが…、相互の意見交換で改善され、良き方向へ発展される事を願います。

センターだよりも一助になればよいが、市民が自分自身のことと考え、理解を深めて行くよう努め学んで行きたいです。(みちしるべ N.H)

ボランティア保険

ボランティア活動などに安心して取り組むための保険です。平成13年度より大きく改正されました。

★ボランティア保険

ボランティア活動の参加者

年間1人 Bプラン 500円

Cプラン(天災担保) 2000円

補償期間 申込日の翌日から翌年3月31日まで

★非営利・有償活動団体保険

NPO法人、各種福祉活動グループ・団体(5名以上)

年間1人 Aプラン 4900円

Bプラン 6300円

補償期間 申込日の翌々月1日から翌年3月31日まで

★ボランティア・市民活動行事保険

スポーツ活動や子供会活動など各種市民活動を行う団体

1人Ⅰ型(宿泊なし)30円～

(掛金は行事内容により異なる)

Ⅱ型(宿泊あり)1泊283円～

行事開催日の7日前までに申込要

★使用済みプリペイドカード集めてます！！

「もういらないから…」と捨ててしまおうと思っている使い終わったテレフォンカードや交通機関のカードを、福祉のために役立ててみませんか。市社協では使用済みプリペイドカードを集めています。このカードは換金して市社協の事業費として活用させていただきます。

対象となるのは

テレフォンカード、ラガールカードなど

お問合せは

豊中市社会福祉協議会 TEL. 6841-9393

